

(1) 協議事項

さくらやまなみバスの事業目標値、運行見直し基準等について

# 1. さくらやまなみバスの概要

本市は阪神地域の中央部に位置し、市域は南北 19.2km、東西 14.2km で南北に長く、その中間部が六甲山系の東端にあたり、そこを分岐点として北部の山地部と南部の平野部で構成されている。

北部の山地部は六甲山系の豊かな自然環境に恵まれた地域、南部の平野部はほとんどが市街地であり、都市的な機能が集中している地域である。

北部は山口地域、塩瀬地域で構成されているが、西側に位置する山口地域には鉄道がなく、また、高校もないため、南部地域の高校へ通学するには、バスや電車を乗り継ぎ、他市を経由する必要があるなどの問題が生じており、南部地域へのアクセスが課題となっていた。

この課題解決のため、山口地域と南部地域を直接連絡する公共交通機関として、さくらやまなみバスが運行を開始した。

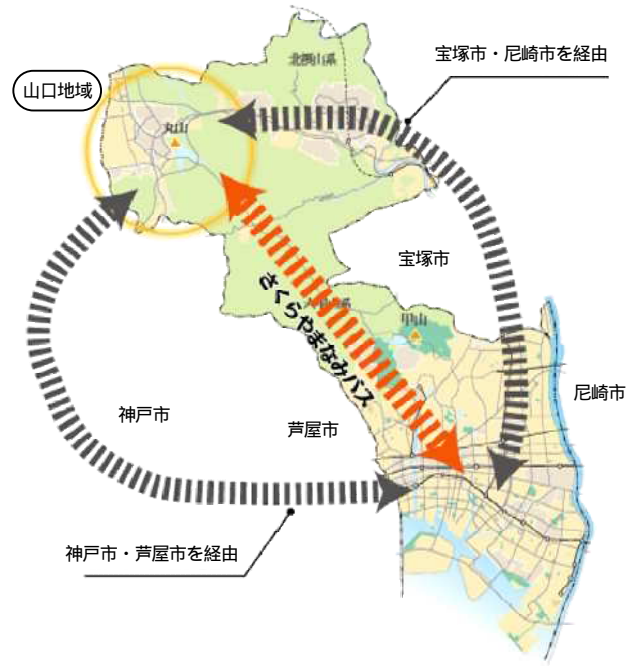


図-1 山口地域と南部地域間の交通手段

## 運行計画概要

- 路線延長 : 約 26 キロ
- 停留所 : 41 箇所
- 系統 : 有馬系統・金仙寺系統
- 運賃 : 150 ~ 880 円
- 事業主体 : 西宮市
- 運行主体 : 阪急バス株式会社
- 車両数 : 8 両 (H22 ~)
- 運行便数 : 平日 46 便・土曜 32 便・日祝 26 便



図-2 運行ルート図

## 平成24年度さくらやまなみバス事業評価委員会 答申

平成 21 年度から運行を開始したさくらやまなみバスは、運行開始から 3 箇年の事業実績を踏まえ、平成 28 年度以降の事業継続可否を判断することとなっており、市長の諮問に基づき、平成 24 年度に事業評価委員会 (全 5 回) が行われ、その結果、「事業継続が妥当」との答申をえている。

なお、答申では事業継続に当たり、今後も継続的に努力すべき以下の事項が意見として付されている。

- ・ 地元、運行事業者、市が一体となって利用促進に継続して取り組むこと
- ・ 需要の掘り起こしに努めること
- ・ 地域資源を有効に活用して、需要の新規開拓を図ること
- ・ 定量的な事業目標や運行計画等の見直し基準を設定し、定期的に事業効果を検証して、事業改善を図ること

## 2. さくらやまなみバスの事業目標値、運行見直し基準値

### さくらやまなみバス利用促進協議会

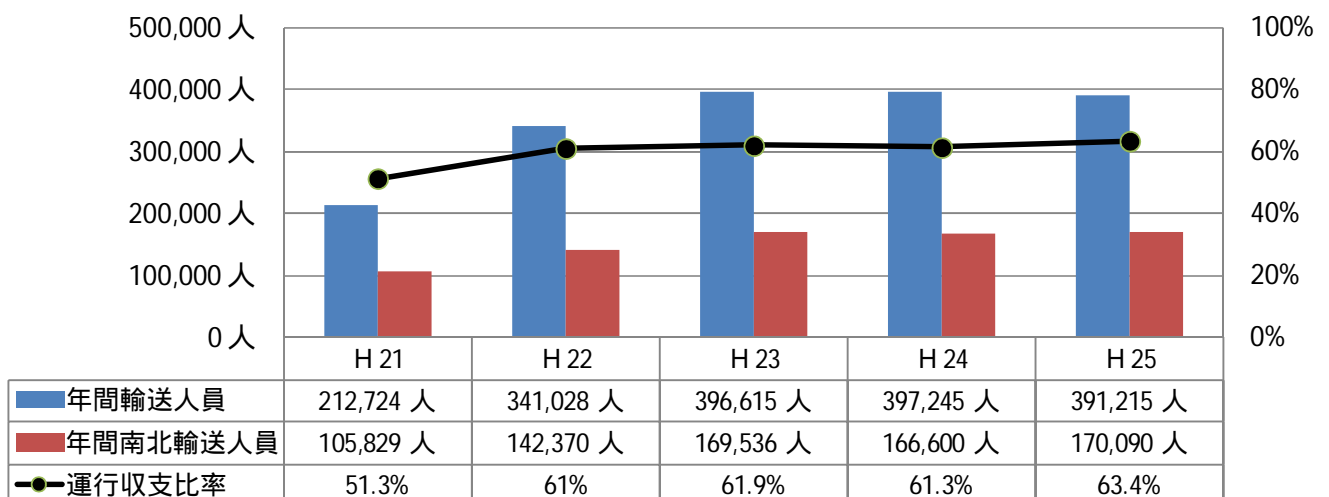
当協議会は、山口地域住民、阪急バス、西宮市の三者で構成しており、運行開始前の平成 20 年 11 月の設立以来継続して、広報物の発行、グッズ製作、イベントでの PR など様々な利用促進策を実施している。

事業評価委員会の答申に付された意見に対応するため、平成 25 年 4 月に 10 自治会の会長を委員とするなど組織を新たに改編し、新体制のもと利用促進策の検討・実施に取り組んでいる。

### 事業目標値、運行見直し基準値に係るさくらやまなみバス利用促進協議会での協議経過（全 8 回）

| 会議     | 開催日       | 協議内容  |
|--------|-----------|---|
| 第 45 回 | H25.11.7  | ・さくらやまなみバスの情報を共有し、現状を分析<br>・持続可能な交通として維持していくための今後の取組みについて検討   |
| 第 46 回 | H25.12.19 | ・バスの役割や必要性についての研究<br>・山口地域住民、阪急バス、西宮市が一体となって、積極的・持続的に利用促進に取組むことを確認<br>・目指す方向性を具体的な数値目標で表現し、利用促進に取組んでいくことを確認 |
| 第 47 回 | H26.1.28  | ・全国で実施されている利用促進策について研究し、山口地域での利用促進策を検討  |
| 第 48 回 | H26.2.21  | ・山口地域での利用促進の対象者をまとめ、活動方法等を検討<br>・利用促進パンフレットの内容について検討  |
| 第 49 回 | H26.3.27  | ・利用促進の効果を分析し、目標値について検討<br>・利用促進パンフレットの内容について検討  |
| 第 50 回 | H26.4.28  | ・輸送状況や収支状況等のバス事業の現状を分析し、利用促進策を検討<br>・利用促進パンフレットの内容や活用方法について検討（H26.5.30 山口地域への全戸配付）<br>・南部探訪ツアーの内容について検討     |
| 第 51 回 | H26.5.30  | ・目標値の指標や数値、目標達成に向けての取組みについて検討<br>・ダイヤ改正の方向性について検討   |
| 第 52 回 | H26.7.8   | ・ <b>目標値の指標・事業目標値・運行見直し基準値を決定</b><br>・目標達成に向けての取組みについて検討<br>・ダイヤ改正の内容について検討                                 |

### さくらやまなみバスの事業実績（H21～H25 年度）

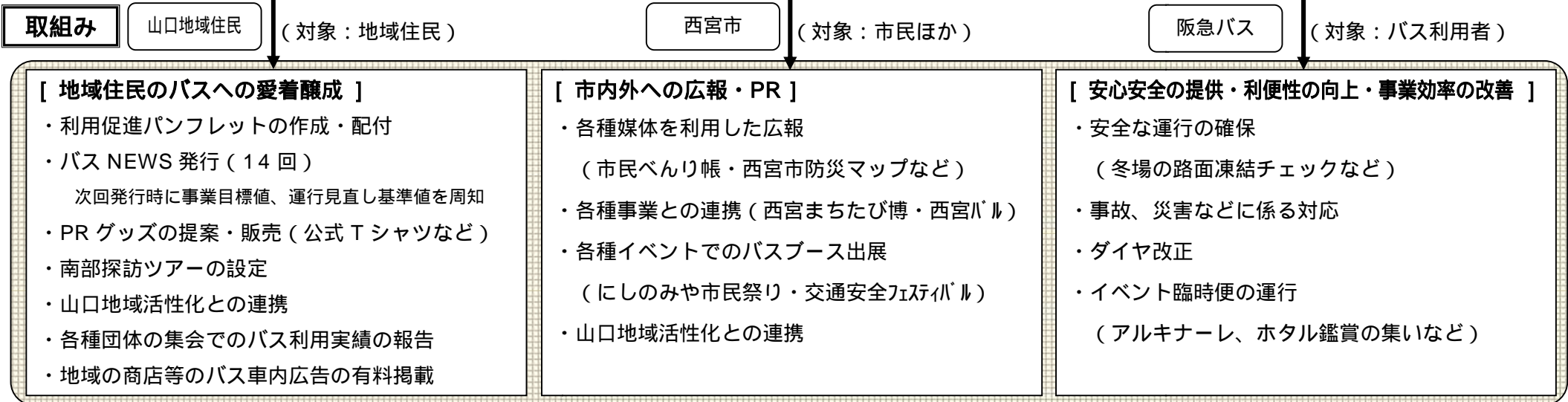


さくらやまなみバス利用促進協議会での取組みと事業目標値、運行見直し基準値

さくらやまなみバス利用促進協議会  
(山口地域住民・西宮市・阪急バス)

| 指 標       | 目標値       | 基準値       |
|-----------|-----------|-----------|
| 年間輸送人員    | 420,000 人 | 340,000 人 |
| 年間南北間輸送人員 | 190,000 人 | 142,000 人 |
| 運行収支比率    | 70.0%     | 61.0%     |

毎年度、各指標の達成状況を確認し、変動要因を分析することで、要因に応じた対策(利用促進策の検討・実施、ダイヤ改正)を行う。



(シミュレーション)

